

会 議 録

会 議 の 名 称	上尾市立上平北小学校 第5回学校運営協議会
開 催 日 時	令和8年2月25日(水) 9:30 ~ 10:30
開 催 場 所	上尾市立上平北小学校 会議室
議 長 (会 長) 氏 名	鈴木 良太
出席者(委員)氏名	副会長 ー (第3回より欠員) 委員 山崎 一人(欠) 委員 鴨田 勉 委員 佐藤 友子 委員 小西 光枝 委員 小川 和美 委員 浅子 工 校長 興野 邦孝 教頭 刀根理恵子 教務主任 金井 徹 事務主幹 上村 恭弘
傍 聴 者	0 名 ()
議 題	(1)傍聴可否の確認 (2)議事 ア 学カテストの結果について イ 来年度の日課等について ウ 学校関係者評価について(学校関係者評価委員会) エ 来年度の学校経営について【熟議】 オ 来年度の学校運営協議会委員について カ その他(授業参観) (3)連絡 ア 今後の予定 ・4月1日(水)第1回学校運営協議会

協議の結果

意見の概要

(1)傍聴可否の確認
→ 可

特に意見等なし
⇒公開会議とする

(2)議事

ア 学カテストの
結果について

◎学カテストの結果について、金井教務主任より説明した。

- ・12月に実施した上尾市の学力状況調査の結果
(全国学力状況調査(6年生実施))
 - ・埼玉県学力状況調査(4～6年生実施)
 - ・上尾市学力状況調査(2～6年生実施))
- ・上尾市学力状況調査については、学力についての意識の高い自治体に参加する調査のため、全国や埼玉県の調査と母集団が異なり、比較すると、やや低めのデータとなる。
- ・正答率内◇は、全国の平均値
- ・標準スコアは、全国の正答率平均を50とした時の換算値

* 今年度の状況

- ・全体的には、国語も算数も、全国平均より下回っている。(4年国語除く)
- ・特に、5年の算数と、6年の国語のスコアが低い。

* 経年比較

- ・標準スコアで見ると、その学年の学力の伸びを見ることができる。

< 算数 >

- ・どの学年も全国を下回っている。
- ・あまり学力の伸び(スコアの上昇)は見られていない。

< 国語 >

- ・4年のみが今年度、全国を上回った。また、年々 上昇し、学力の伸びが分かる。

指導方法等に良い点があったことが推測される。

検証し、今後の指導に生かしたい。

全国、埼玉県の調査結果も、同様の伸びがあった。

県平均と同等の正答率で、それ以上の伸びが見られた。

- ・6年については、県平均を大きく下回っており、経年で見ても、平均よりだいぶ下回っていることが課題である。

* 総括

- ・算数及び国語において、この調査は普段行っている単元テスト等と違い、文章を読む力が求められる。

協議の結果

意見の概要

例)算数

単元テスト 表面:計算など 裏面:文章問題

↓

市・調査 初めから日常に即した場面の文章問題など

↓

児童:難しく感じている

{ ・慣れていない
・語彙力が足りていない など

⇒授業改善の必要があるか、検証していく。

・語彙力を増すため、辞書引き活動を今年度取り入れた。

・基礎基本の定着を図ってから、このような応用問題に対応することが考えられる。

・授業に集中できていない児童も見受けられる。

そのため、今年度取り組んでいるPBSを生かし、

児童のやる気、意欲を高める授業改善に取り組んでいる。

○意見 ●質問

●上尾市の学力状況は、埼玉県や近隣の自治体と比較して、どのような状況にあるか。

→上尾市と埼玉県の平均値は同等となっている。

ただ、説明にもあったように、学校の学習状況だけではない要因も、この結果には含まれていると考えられる。

(学習塾の影響も大きいと考える。それは、応用問題にも取り組んでいるため、経験やテクニックに差が出ると考えられる。そのため、学習塾に通っている児童が多い地域の方が、スコアの高い傾向にあるため。)

●学習が分からない児童たちは、それをどう解決したらよいかも分からないのではないかと考える。教科書や辞書などを調べることによって、授業の振り返りを行うことができる。また、そこにヒントや答えがあり、解決することができるはずなのに、それをしていない状況がある。

→やる気、意欲(自己肯定感)を持っていない児童が、復習を行うことは難しい。だからこそ、PBSによって、それを持たせることが大切であると考えている。

協議の結果

意見の概要

やることを押し付ければ、結果の数値を上昇させることはできる。しかし、それは自身の学習力にはつながらないため、継続した学力の伸びは期待できない。

○勉強のテクニックを教えることは簡単。しかし、学校の学習はそれではなく、生きるための力を養ってもらいたい。人間を創ってもらいたいと思う。

○こういった学力調査は、テクニックがものをいうため、学力としてみてよいのかと、疑問に思う。

○最近、親もあまり子供の学習をやらなくなってきている。

○文章問題が多くて終わらなかったと子供が言っていた。問題を解くテクニックや、学習において、親がアドバイスなどはしているが、やはり、最後は自分で気付くかと思う。そのためには、やる気を持つことが必要だと感じている。

イ 来年度の日課等
について

→ 承認

◎来年度の日課等について、金井教務主任より説明した。

< 週日課表について >

令和6年度 → 令和7年 の変更点等

・朝の開始時刻 8:15 → 8:20

・下校時刻のパターン化(3つに統一)

・会議研修等の精選による、授業準備・学級事務の時間増。(他校よりも多く設定できるよう工夫した。)

また、いちょう日課による午前中5時間授業を行うことで、放課後の余裕を持った。午前中が少々忙しい時間配分となっているが、教職員も児童もだいぶ慣れた。

・令和8年度は、いちょう日課の曜日を変更する。

令和7年度 火・木 → 令和8年度 火・金

< 年間予定表 >

・後日、さくら連絡網で配信予定

・修学旅行、林間学校、運動会は今年度と同時期

・各学年の出前授業は、その学年の実態に応じて、来年度にそれぞれ設定する。

・今年度11月の学校公開については、曜日の関係で10月

協議の結果

意見の概要

31日となる。また、午前中は学校公開、午後はPTA主催の催し物が開催される予定(内容等は検討中とのこと)

・個人面談期間を変更する。

令和7年度 12月 → 令和8年度 7月

(もっと早い時期に保護者の方と会って、情報の共有や、目標の設定等を行いたいと担任から意見があった。)

・10月9日の本校開校記念日に伴って、4連休となる。

< 今後の検討課題 >

・児童の登校時刻について

7:55～8:05に校門を潜ることとなっている。教職員の勤務時間前に設定されているため、今後検討が必要となってくる。

・運動会の開催時期について

現在は10月初めの土曜日に設定しているが、暑さ等を考慮したとき、1学期中へ移動した方が良いのか、検討が必要。ただ、現在は体育館に空調機が導入されているため、9月から体育館を使用して、しっかりと取り組みを始められている。そのため、当日についてだけでなくこの時期に運動会の取り組みを行う方が良いのか、通常の体育を行う方が良いのか、といった観点でも検討したい。

○意見 ●質問

○10月のいちょう祭りについて

PTA本部役員が、令和8年度より5名 → 3名になる。そのため、いちょう祭りを本部主管では開催できないので、専門部主管へと変更する。したがって、今年度と同様な祭りを行えるかどうかは未定となっている。ただ、催し物自体は開催の方向で考えている。詳細は来年度のPTAが決定していく。

●教職員の働き方改革において、2交代制の対応等を取ることはできないのか。

→ 制度として、「フレックスタイム」が導入された。

これは、個人の働き方に対応するための制度。制度を活用すれば、法的には可能だが、半数の教職員で学校運営を行うことはできない。

協議の結果

意見の概要

担任不在のクラスや、半数不在の会議・決定などになってしまう。
登校指導については、可能な教職員がボランティアで対応する形となっている。

○そこにフレックスタイムを導入したらどうか。
→この部分をフレックスで例えば1時間早めてしまうと、放課後の会議やその他の仕事等に支障が出てしまう。

○小中一貫教育(9年制)みたいにする事で、人員問題の解消をすることはできないか。
→一貫教育にしても、それぞれの学校に配置される人数は変わらない。戸田市立東小学校/中学校のように、小中学校併せて1つの校舎となれば可能かもしれない。

ウ 学校関係者評価
について

→ 承認

◎今年度の学校評価について、刀根教頭より説明した。

- ・学校関係者評価委員の皆様にご提出いただいたものを資料に追加した。
- ・この場ですべてを読み上げることはしないが、評価いただいた事項や、課題とされた事項などを真摯に受け止め、よりよい学校運営に繋げていく。
- ・承認いただいた後、上尾市教育委員会へ提出する。
また、学校ホームページにて一般公開する。

○意見 ●質問
なし

エ 来年度の学校
経営について

→ 承認

◎来年度のグランドデザイン等について、興野校長より説明した。

- ・全体としては、令和7年と同様なものにしたいと考えている。
目指す学校像「『あいさつ』と『ありがとう』のあふれる学校」
目指す児童生徒像←上平中学校区合同目標
目指す教師像「自分に厳しく、相手に優しく、授業で勝負し、
信頼される教師」
学校課題研究(上尾市教育委員会委嘱1年次)
「夢を語り 未来を拓く 小中一貫教育」
※令和8年度より小中一貫教育本格導入

協議の結果

意見の概要

のため上平小・中・上平北小合同課題設定
～児童の自己肯定感を高めるPBSの実践～
※本校独自の研究テーマ

○意見●質問

●小中一貫教育の研究のようだが、研究発表の方法は
どうなるのか。

→令和8年度は、一貫教育の地区で、それぞれの学校が
同一日に研究発表会を開催する予定。

令和9年度については未定だが、それぞれの学校が
発表を行うことは変わらない。

オ 来年度の学校
運営協議会委員
について

→ 承認

◎令和8年度の学校運営協議会委員候補者について、
興野校長より説明した。

・小中一貫教育が令和8年度より本格化することを踏まえ、
学校運営協議会委員にも、中学校と係る方を任命したい
と考えた。そのため、候補に挙げている方へ、委員を務める
ことが可能かどうか、事前に確認した。

・今年度途中から、元協議会会長が退任されたため、急遽
現会長に会長を務めていただいた。年度当初はPTA関係者
として2名に委員となっていたが、来年度は、PTA会長
に委員をお願いしたいと考えている。

・今年度末を持って退任される皆様、ありがとうございました。

・来年度も引き続きお受けしていただける予定の皆様、
今後ともよろしく願いいたします。

カ その他(授業参観)

◎幼保小交流会(寿幼稚園と1年1組児童)を参観した。

(3)連絡

ア 今後の予定

・令和8年度第1回学校運営協議会について

令和8年4月1日(水)

9:00～ 任命書の手交・会長等選出

・協議会(学校経営等に関すること)

・卒業証書授与式について

令和8年3月24日(火)

ご来賓 上尾市長 上尾市教育委員会

協議要旨	協議の結果	意見の概要
		<p>学校運営協議会の皆様 自治会長の皆様 PTA会長</p> <p>・令和8年度入学式について 令和8年4月8日(水) ご来賓 上尾市長 上尾市教育委員会 学校運営協議会の皆様 自治会長の皆様 PTA会長</p> <p>・新年度の学校運営協議会の皆様には、入学式にも ご臨席を賜りたい。後日、ご案内を送付予定。</p>